

タイトル

【全編オホ声】即墮ち「六」生イキメスガキ姉妹を専用オナホに催眠調教、

「登場人物」

滯（赤字）

雫（青字）

（全6トラック）

トラックー一時限目 メスガキ、~~バ~~九条姉妹 専属肉便器催眠完了

SD:放課後、生徒たちのざわめき

SD:チャイムの音

SE:ドアが開く音

(雫:前・遠い)

(滯:前・遠い)

雫:あつ、先生いた〜。

滯:わざわざこんな空き教室に呼び出してさ〜。

あんたの呼び出しなんか無視してもいいんだよ？

雫:まあまあ、滯ちゃん。

どーせ放課後も予定もないし、

暇つぶしに先生に付き合っただけでええわ〜。

滯:もう、雫はいつも甘いんだよ。

こんな奴、一緒にいるだけでええわ〜。

(トナリまで)

SE:ドアが閉まる音

(雫:前・近い)

(滯:前・近い)

雫:ねえねえ、先生。この前エロ本読んでたでしょ〜。

ごまかしたってダメですよ〜。

雫、この間見ちゃったんですから。

ね、滯ちゃん。

澤：プリント出しに職員室行こうとしたら偶然ね。

まじ、学校で堂々とエロ本見るとか頭どうかしてんじゃないの？

雫：ねー、ほんとほんと。

澤：はあ、きつも。

ほら、今だって私たちのことすっごくいやらしい目で見てくるし。

雫：先生、そうやって女の子のことジロジロ見るのやめたほうがいいですよー。

みんな裏で噂してるんですから。

ほんと気持ち悪いよねーって。

澤：雫、さっさと用事済ませて帰ろ。

ほら、補講って何なの？

そのために私たちをここに呼んだんでしょう？

別にあんたなんか教えてもらうことなんて何も無いんだけど？

……はあ？ スマホを見る？

SE：スマホを取り出す音

雫：んー、なにになに？

私たち姉妹は、先生の専属肉便器……？

澤：きつも……。

雫：先生、もしかしてこれって催眠アプリってやつですかあ？

ぶぶっ、エロ漫画の読みすぎですってー。

澤：あんた、教師のくせに……。

生徒にこんなもん見せて恥ずかしくないわけ？

雫：ほんとにいつもエロいことばっか考えてんですねー。

きもち悪いですね。信じらんない。

澤：ふんっ、ほら、何か言い返したらどうなの？

……は？ 今ここで跪いて尻穴を舐めろ……？
ちょっとあんた、ふざけてんの？

雫：ふふっ……先生、本気で言ってるんですかあ？

濡ちゃん、この人ほんとにヤバイよ。

濡：ほんと、雫のいう通り——……

はあっ……。

もうっ、私たちはあんたの専属肉便器なんだから。

尻穴舐めなんて当たり前でしょ？

いちいち命令されることじゃないわよ。

雫：ねーっ。命令しなくてもしてあげるのに……

先生ったら、変なの〜！

(い)まで)

(雫：右・近い)

(濡：左・近い)

濡：ほら、さっさと尻穴出さないよ。

雫：一人じゃパンツも脱げないんですかー？

しょうがないなあ……。

雫が手伝ってあげますよ。

濡：ほんと、私たちがいないとダメなんだから。あんたは。

SD：ベルトを外す音

SD：衣擦れの音

雫：うわー♡ 先生、もう興奮してるんだー♡

おちんちん、おっきくなってますよー♡

濡：ほら、早く尻穴こっちに向けなさいよ。

(いっ)まで)

(濡：前・近い)

(濡：後ろ・近い)

濡：……うわ、くっさ……！ちゃんと洗ってんの？

はあっ……まじ最悪。

私たちがしっかり舐めてあげるからおとなしくしてなさいよね。

雫：ふふっ、濡ちゃんの次は……。

雫が、先生の尻穴舐めてあげますね▽

濡：ほら、あんたはもっと尻突き出して——……。

はあっ……くっさ……舐めるわよ？

えあーん……じゅるじゅる♡ じゅるりじゅるる♡

ずっ♡ じゅるるるる♡

はあっ……くっさ……じゅるる♡

んっ、じゅるるる♡ えあーん♡ じゅるるっ♡

ぷはっ……うわー、あんたのケツアナすっごいヒクヒクしてる。

きつも♡ 女子高生にお尻の穴舐められて感じちゃってさあ。

雫：わーっ♡ すごい♡

おちんちんおっきくなってきた♡

ねえ、先生……おちんちんは私が気持ちよくしてあげようか？

前と後ろで、いっぱい舐め舐めしてあげるからね♡

ほら、おっきなおちんちん……お口でくわえてあげる……♡

えあーん……はむっ♡ じゅる♡ んっ♡ じゅるるる♡

んぐぼっ♡ じゅぼじゅぼ♡ はあっ……♡

雫のフェラ、気持ちいいしょ？♡

あーんっ♡ じゅぼじゅぼ♡ じゅぼっ♡ じゅる♡

んっ♡ じゅるるる♡ んぐぼっ♡

濡：あはっ。あんた、雫にフェラされて気持ちいいんだ？

すっごく感じてんじゃん。

ここからだ、感じるたびに尻穴がヒクヒクしてるの丸見えだよ。
ほら……もともっと舐めてあげるわ。

えあーん……じゅるじゅる♡ じゅるりじゅるる♡
ずっ♡ じゅるるるる♡ じゅるる♡

んっ、じゅるるる♡ えあーん♡ じゅるるっ♡

じゅりゅっりゅ♡ ぽっ♡ えあーん……じゅるじゅる♡

じゅるりじゅるる♡ ずっ♡ じゅるるるる♡

雫：先生、おちんちん気持ちいいふかあっ♡

あーん♡ じゅる♡ んっ♡ じゅっ♡

んぐぽっ♡ じゅぼじゅぼ♡ んっ♡ じゅぼじゅぼ♡

じゅぽっ♡ じゅぽっ♡ じゅっ♡ ぐっ♡ じゅるる♡

ぶはっ♡ おちんちんもすっごくいい♡

喉の奥まで匂って来て、むせちゃう……。

じゅる♡ んっ♡ じゅっ♡ ぐっ♡ ぐっ♡

じゅぼじゅぼ♡ んっ♡ じゅぼじゅぼ♡

じゅぽっ♡ じゅっ♡ ぐっ♡ じゅるるじゅぼ♡

じゅっ♡ ぐっ♡ ぐっ♡ はあっ……♡

濡：ほんと……汚い尻穴……。

こんな汚いところ、女子高生に舐めさせてやあ……。

しつかり穴の中まで舐めてあげなきゃいけないじゃないの。

はあっ……。

えあーん……じゅるじゅる♡ じゅるるるる♡

じゅるるるる♡ じゅっ♡ ぐっ♡ ぐっ♡

えあーん♡ じゅるるる♡ ぐっ♡ ぐっ♡

じゅっ♡ じゅるるるる♡ じゅっ♡ ぐっ♡

じゅっ♡ ぐっ♡ はあっ♡ ぐっ♡ ぐっ♡

雫：じゅる♡♡ んっ♡ じゅっ♡ ぐっ♡ ぐっ♡

じゅぼじゅぼ♡ んっ♡ じゅぼじゅぼ♡

ぽはっ♡ はあっ♡ はあっ♡

……ん？ なに？ アプリの効き目がすっごく……

アプリ？ そんな、催眠なんて……あれ……？

ううん、雫たちは最初から、ずっと先生の専属肉便器ですよー♡

濡…ふはっ♡ そうよ？

こうやっていつも先生のスケベな体を気持ちよくしてあげてんだから。

ずっと前から…ん…？ あれ…？

ま、関係ないわ。

ほら、まだまだ始まったばかりなんだから。

私たち姉妹の女子高生肉便器…たっぷり使ってよね。

(雫：前・近い)

(濡：後ろ・近い)

雫：先生のおちんちん、ガッチガチに勃起してる♡

……すっごく苦しそうですよ？

早くザーメンびゅーびゅーしたくしょうがないんじゃないですか？

濡：ほらっ、あんたの精子を子宮に注がれるまでが、

私たち肉便器の仕事なんだから。

さっさとしなさいよね。

はあ？ 本当によいのか？ って？

あんた、ほんと馬鹿ね。

私たちは肉便器なのよ？

雫：そうですよー？

肉便器には好きなだけ中だしていいんですよ？

全然問題ないんですから♡♡

それに、それが肉便器のお仕事なんです。

いっぱい出してもらわないと逆に困っちゃいますよ♡

濡：そういうこと。

ほら、雫も早く服脱いで。

雫：はい。

SE：衣擦れの音

雫：ぶっぶっ、先生ったら雫たちの下着姿に見惚れちゃってんですか？

下着がえろすぎっ！

今どきの女子高生なんて、みんなこうですよ♡

濡：ほら、早く。仕事が終わらないでしょ？

そのなきけなないチンポ、私のマンコでしゃぶってあげる。

ほら……。

雫：わあ……濡ちゃんのオマンコ、すっごくトロトロになってる……♡
んっ……はあっ♡

私も興奮してきちゃったな……♡

濡：何してるの？ 早くしなさい。

……は？ 私はまた尻穴舐めてろって？

私はあるたのケツアナ專屬便器じゃないっての

……この、変態教師。

雫：じゃあ、先生の生精子は雫のオマンコに注ぎこんでくださいっ♡

……ほら、見て？

雫のオマンコも、もうこんなに愛液溢れてるんです。

ほら……先生、そこに横になってください。

肉便器の雫が、ちゃんと気持ちよくしてあげますからね♡

ほら……先生のおちんちん、雫のオマンコに当てて……♡

あっ♡ はあっ……♡ 先生のおちんちん、入って来る……♡

おっきい……♡ 馬鹿にしたのになあっ……♡

こんなのっ……♡ あっ♡ おおっ♡ おほっ♡

おお♡ おっ♡ おおお♡ おほ♡ おおお♡ おほおお♡

濡：雫ったら、すっごく感じてんじゃん……。

私もしっかり仕事してあげるから、覚悟しなさいよっ。

くっさいアナル、とろとろに気持ちよくしてあげる。

ほら、ちよつと腰浮かせなさいよ……。

えあーん……じゅるじゅる♡ じゅるりじゅるるる♡ じゅずっ♡

じゅるるるる♡ じゅるる♡ んっ、じゅるるるる♡

えあーん♡ じゅるるっ♡ じゅるるるる♡ じゅじゅじゅじゅ♡

雫：おほっ♡ おっ♡ おっ♡

濡ちゃんがアナル舐めると、先生のおちんちんおっきくなる♡

ぎもぢっ♡ おっほ♡ おげっ♡ おっ♡ おっ♡

はあっ♡ あっ♡ あっ♡ おっ♡

おほおお♡ おっ♡ おっ♡ おああっ♡ あっ♡

おっ♡ おおっ♡ おんっ♡ おおおっ♡
はーっ……♡ はーっ……♡

先生、もっと気持ちよくなりたいですよね？

…雫が、こうして…。

先生の乳首も、一緒に攻めてあげます♡

乳首を指先でつまんで……♡

おっ♡おっ♡

乳首、気持ちいいんですか？♡ おちんちん、おっきい♡
 おおおっ♡ おっほ♡ おほお♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡

霽…もうっ……雫よりも、私のほうが……

あんたのこと、気持ちよくできるんだから。

じゅるる♡ んっ、じゅるるる♡ えあーん♡

じゅるるっ♡
んっ♡
ふうっ♡
えあーん……じゅるじゅる♡

じゅるりじゅるる♡
ずっ♡
じゅるるるる♡

ふはあつ♡
じゅるる♡
んっ、じゅるる♡

えあーん♡
じゅるるっ♡
じゅぶぶぶ♡

雪おっほ♡
おづ♡
おっ♡
おっ♡
はあっ♡

あっ♡ あっ♡ おっ♡ おほおっ♡ おっ♡

先生♡♡
すごい♡
ぎも♡
いい♡
おっ♡

おごっ♡
おっ♡
おっ♡
はあっ♡
あっ♡
あっ♡

おっ♡ おほおっ♡ おっ♡ おっ♡ おああっ♡ あっ♡

すごい声でちやう♡

教室の外まで聞こえちゃうよっ♡

おっほ♡
おっ♡
おっ♡
おっ♡
はあっ♡

あっ♡ あっ♡ おっ♡ おほおっ♡

えあーん……じゅるじゅる♡
じゅるり♡

じゅるるる♡
ずっ♡
じゅるるるるる♡

じゅるる♡ んっ、じゅるる♡ じゅるる♡

えあーん♡
じゅるるっ♡
じゅぶぶぶ♡

ぶはっ……♡……もっとしっかり舐めろって？

言われなくても分かってるわよ。

おっほ♡ おづっ♡ おっ♡ おっ♡
はあっ♡ あっ♡ あっ♡ おっ♡ おほおっ♡
おっ♡ おっ♡ おああっ♡ あっ♡ おおおっ♡
おっ♡ おう♡ おおっ♡ おほ♡
おっほ♡ おづっ♡ おっ♡ おっ♡
はあっ♡ イッ♡ イきそっ……♡
あっ♡ あっ♡ おっ♡ おほおっ♡
おっ♡ おっ♡ おああっ♡
先生……♡ あっ♡ おおおおっ♡ おっ♡ おう♡
おおっ♡ せんせいっ……♡
一緒に……♡ イってくださーい……♡
雫のオマンコにびゅーびゅーして……♡
おっほ♡ おづっ♡ おっ♡ おっ♡ はあっ♡
あっ♡ あっ♡ おっ♡ おほおっ♡
おっ♡ おっ♡ おああっ♡ おおおっ♡
いぐっ♡ いっ♡ おおおっ……♡
イグッ♡ おんっ♡ おっ♡
イッ……イグウウウウウウウッ♡
はーっ……♡ はーっ……♡ はーっ……♡ すーいっ……♡
先生のドロドロ精子……いっぱい入って来た……♡
はーっ……♡ はーっ……♡

濡…ぶ…はっ……♡ はあっ……♡ はあっ……♡
ちゃんと雫の中にたっぷり注げた？
……何よ？ 何か注文があるならちゃんと言いなさい。
……ああ、わかってるわよ。
中だし後のオチンポ清掃も肉便器係の仕事でしょ。
ほら、雫。さっさとそこをどいて。

雫…はーっ♡ はーっ♡ う、うん……。
わあ……すっごい……精子いっぱい溢れてくる……♡

(雫：後ろ・近い)

(濡：前・近い)

濡：ん……ほら、あんたの中出し後のドロドロオチンポ、私のお口で綺麗にしてあげる。

スンスン：雫の愛液と精液の匂いですっ……匂い……

えあーん……♡♡♡はむっ♡♡♡じゅる♡♡

んっ♡♡♡じゅるるるるる♡♡♡ん♡♡♡ぽっ♡♡

じゅぽじゅぽ♡♡♡んっ♡♡♡じゅぽじゅぽ♡♡♡

じゅぽっ♡♡♡じゅるるるるる♡♡♡はあっ……♡♡♡

すっ……匂い……むせかえりそう……っ……っ……。

あーん……はむっ……んっ♡♡

じゅぽっ♡♡♡じゅる♡♡♡ん♡♡♡るっ♡♡♡

じゅるるるるる♡♡♡じゅる♡♡♡ん♡♡♡るっ♡♡♡

ぐぽっじゅるるるる♡♡♡じゅる♡♡♡ん♡♡♡るっ♡♡♡

じゅ♡♡♡ん♡♡♡ぽっ♡♡♡じゅぽじゅぽ♡♡♡じゅるるるる♡♡♡

じゅぽじゅぽ♡♡♡じゅぽっ♡♡♡はっ……♡♡♡

ほら、これで綺麗になったわよ。

……はあっ……おしっこしたってっ……

もうっ……早くしなさいよ。

何してんの？ ほら、早く口の中にどーぞ。

……どうしたの？

便器に放尿するなんて当たり前でしょ？

ほらっ。あーん……。

SE：放尿の音

濡：んっ……んっ♡♡♡へへへ♡♡♡へへへ♡♡♡

……げほっ♡♡♡へへへ♡♡♡へへへ♡♡♡へへへ♡♡♡

……はあっ……。んっ……。

はい、あーん……ほら、ちゃんと全部飲んだわよ。

これで満足っ……

雫：濡ちゃん、私たちがセックスしたあとのお掃除ありがとう……♡

濡：ふんっ。肉便器の仕事をただけよ。

あんた、まだまだ満足してないでしょ？

使いたくなったらいつでも、この便器を使うのよ

トラック3 三時限目 放課後は先生専属の携帯オナホです

SE:チャイムの音

(雫:前・近い)

(濡:前・近い)

雫:……あ。もう、下校の時間ですね。

濡:本当ね。あーあ、どうする？

放課後はあんたの、携帯オナホにならなきゃ行けないから
あんたについていくけど

……とりあえず近くの公園で待ち合わせ？
分かったわよ。そこで待っててあげる。

雫:はい！

雫たち、先に行って待ってますからねー先生♡

濡:じゃあ、またあとでね。

SE:ドアが開く音

SE:出していく足音

SE:(場面変わり)公園の木々が揺れる音

雫:あ、先生きた♡♡

濡:遅いわよ、もう。

はぁ？きつそくオナホつかいたって？
猿かよ……

場所はとうしようかしら……。

雫:濡ちゃん、うちはどうかな。

濡：ああ……そうね。オナホするならちようにいいかも。

雫：うち、お母さんもお父さんも共働きで帰り遅いんです♡

それでいいですね、先生？

……よかったあ♡ 雫、楽しみです♡

エッチしたくなったら、いつでも私たち携帯オナホ係をお使いください♡

SD：衣擦れの音

濡：ほら、これ私のパンツ。

……何よ。オナホ係にパンツなんて不要よ。

当たり前でしょ？

ほら……オマンコ、ぬるぬるにして、いつでも即ハメOKのオナホ状態にしてあるから。

雫：雫も、もうオマンコぬるぬるです♡

ばっちり準備できてます♡

早くおうちに向かいましょうか♡

(っ)まで)

(雫：右・近い)

(濡：前・近い)

濡：んっ……きやつ！

ちよ、家まで我慢できないの？

ちよっと……無理やりキスするなんて……。

ちゅ……♡ んっ……♡♡ ちゅ♡ ちゅ♡ んっ♡ はあっ……♡♡

あんたがオナホをどこで使おうが知ったこっちゃないけど……

もつと場所をわきまえたほうがいいわよ？

こんな夕方の公園でなんて……誰かに見られたら……。

んっ……おっ♡ おおっ♡ そっっ♡ ちがっ……お尻っ♡

おおおっ♡ まっ♡ おっ♡ お尻にオチンポ入ってる♡

お尻……あつい……っ

おほっ♡ おおっ♡ おっ♡ アナル感じちゃう♡

おっ♡おっ♡おっほ♡おおおっ♡おほっ♡
おんっ♡おんっ♡おおっ♡おほおっ♡
はっ♡はあっ♡んっ♡おおおっ♡

雫:あゝ濡ちゃんいいなあ♡

アナルずぼずぼされて気持ちよきさう……♡

濡:おっ♡おっ♡おおっ♡おほおっ♡はっ♡

お尻オチンポ擦れて…ひろがっちゃっ

はあっ♡んっ♡おおおっ♡

おっほ♡おごっ♡ぐっ♡んおっ♡

はあっ♡あっ♡あっ♡おっ♡おほおっ♡

おっ♡おっ♡おああっ♡あっ♡おおっ♡

おおおんっ♡おほおっ♡お尻きつい♡こわれちゃう♡

おおおっ♡おっ♡おおおんっ♡

オマンコ……入れてほしいのになっ♡

おおおっ♡おっ♡おしりっ♡おっほ♡おっ♡

おっ♡おっ♡はあっ♡あっ♡あっ♡おっ♡おほおっ♡

雫:はあっ……♡

雫もお尻してほしいのになー♡

濡:ち、ちがっ……！

私は別に気持ちよくなりたくてエッチしてるんじや……おっ♡

おっほ♡おごっ♡おっ♡おっ♡はあっ♡

ただ、オナホ係としての仕事をしてるだっ♡けえっ♡

あっ♡あっ♡おっ♡おほおっ♡

おっ♡アナルひろがってる♡きもちっ……おっ♡

おおおっ♡おほ♡おほ♡

まっ……♡あんた、激しすぎっ……っ♡

おほっ♡おほおっ♡おほっ♡おおおっ♡

おっ♡おっ♡おおっ♡おほおっ♡

ケツオナホごわれるっ♡私のお尻ガバガバになっちゃうっ♡

はっ♡はあっ♡んっ♡おおおっ♡

おっ♡♡……♡おほおっ♡おっ♡

おっほ♡ おづっ♡ おっ♡ おっ♡

雫: ねえねえ、先生♡

雫も先生のために気持ちいいことしてあげたいです♡

だから……お耳、舐め舐めしてあげますね♡

はむっ♡ じゅるるるる♡ じゅるるるる♡ んじゅっ♡

えあーん……じゅるるるる♡ じゅ♡ じゅ♡……♡

はあっ♡ じゅ♡ ちゅ……♡ ちゅ♡ じゅ♡……♡ ちゅ♡

ちゅ♡ んっ……えあーん……♡ じゅ♡ じゅるるる……♡

じゅ♡ じゅ♡ ふはっ♡

先生……お耳も感じるんですね♡

はむっ♡ じゅるるるる♡ じゅるるるる♡ んじゅっ♡

えあーん……じゅるるるる♡ じゅ♡ じゅ♡……♡

はあっ♡ じゅ♡ じゅるるるる♡ じゅ♡ じゅるるる……♡

濡: アナルだめえっ♡ ギもぢっ……♡

おっ♡ おっほ♡ おおっ♡ おほ♡ おほ♡

おっほ♡ おづっ♡ おっ♡ おっ♡ はあっ♡

あっ♡ あっ♡ おっ♡ おほおっ♡

おっ♡ おっ♡ おああっ♡ あっ♡

だ、誰か来たらどうすんのよっ……ねえっ♡

おっほ♡ おづっ♡ おっ♡ おっ♡ はあっ♡

あっ♡ あっ♡ おっ♡ おほおっ♡ おっ♡ おっ♡

おああっ♡ あっ♡ 声すいの出るっ♡ おほおっ♡

は、はいっ……私は携帯オナホ係ですっ……♡♡

アナルでもオマンコでも

いつでもどこでも、中だしてくださる♡

おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おほおっ♡

はっ♡ はあっ♡ んっ♡ おおおっ♡ おづっ♡

雫: 先生、気持ちよくなっちゃいました……っ？

イキそうになったら、濡ちゃんのアナルオナホに、

精子びゅーびゅーしていいですからね♡

雫は、先生のお耳を、いっぱーっト口にしてあげますっ……♡

はむっ♡ じゅるるるる♡ じゅるるるる♡

んじゅっ♡ えあーん……じゅるるる♡

じゅ♡ じゅぽっ♡……♡ はぁ♡♡

じゅ♡ じゅるるる♡ じゅ♡♡

耳奥まで……♡ じゅぽっ♡ じゅぽっ♡ じゅぽっ♡ じゅぽっ♡

はぁ♡……♡ じゅる……じゅへへ♡♡

じゅぽっ♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅへ♡♡

じゅ♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅ♡ じゅ♡

じゅるるる♡ じゅぽっ♡♡♡

澤.: おっ♡♡♡ おおっ♡♡♡ おほっ♡♡♡

はっ♡ はぁっ♡♡♡ ち♡♡♡

おっ♡♡♡……♡♡♡ おほおっ♡♡♡♡♡

もう……だめ……♡♡♡ ぎもぢっ♡♡♡

おっほ♡♡♡ おっ♡♡♡ おっ♡♡♡

はぁっ♡♡♡ あっ♡♡♡ あっ♡♡♡ おほおっ♡

おおっ!?! 激しくしちゃ♡

おほおお♡♡♡ おほ♡♡♡ おほ♡♡♡

おっほ♡♡♡ おっ♡♡♡ おっ♡♡♡ はぁっ♡

あっ♡♡♡ おっ♡♡♡ おほおっ♡

アナル壊れるっ♡♡♡ おっ♡

おぁあっ♡♡♡ あっ♡♡♡ おほおお♡♡

ぎもぢいっ♡♡♡ お尻の穴、すっごく感じるっ♡♡♡

おっ♡♡♡ おほ♡♡♡ おほおお♡♡

雫.: 澤ちゃんおかしくなっちゃってる……♡

こんな公園でエロい声だして……♡

しかも学校の先生とエッチして……♡

誰かに見られたら大変ですね……?♡

でも、そう考えるとちょっと興奮しちゃいますよねえ……?♡

ちゅ……♡♡♡ ちゅ♡♡♡ じゅるる……ちゅ♡

ちゅ♡♡♡ んっ……えあーん……♡

じゅ♡♡♡ じゅるる……♡♡♡ じゅ♡♡♡ じゅ♡

じゅるるる♡♡♡ はぁっ♡♡♡ じゅるるる♡♡♡

はむっ♡♡♡ じゅるるる♡♡♡ じゅるるる♡♡♡

んじゅっ♡♡♡ えあーん……じゅるるる♡♡♡

じゅ♡♡ じゅぽっ♡……♡♡ はぁっ♡♡ じゅ♡♡
じゅるるる♡♡ じゅる♡♡ じゅ♡♡
はぁっ……♡♡ じゅる……♡♡ ぐへへぽっ♡♡
じゅぽっ♡♡ じゅ♡♡ じゅへっ♡♡
じゅっ♡♡ じゅ♡♡ はぁっ♡♡ じゅっ♡♡ じゅっ♡♡
じゅへっ♡♡ じゅぽっ♡♡ じゅ♡♡

濡…おっほ♡♡ おっっ♡♡ おっ♡♡ おっ♡♡ はぁっ♡♡

あっ♡♡ あっ♡♡ おっ♡♡ おほおっ♡♡

おっ♡♡ おっ♡♡ おあぁっ♡♡ あっ♡♡ おちおっ♡♡

おほおおお♡♡ イ、イキそう……？♡♡ おっ♡♡ おちう♡♡

はげしっ♡♡ おほおお♡♡

くっ……は、はいっ♡♡ 私はあなたのオナホです♡♡

私のアナルに、精子いっぱい注いでくださいっ……。

おっほ♡♡ おごっ♡♡ おっ♡♡ おっ♡♡

はぁっ♡♡ あっ♡♡ あっ♡♡ おっ♡♡

おほおっ♡♡ おっ♡♡ おっ♡♡ おあぁっ♡♡

あっ♡♡ くるうう♡♡ おほおお♡♡

おっ♡♡ おっ♡♡ おおっ♡♡ おほおっ♡♡

はっ♡♡ はぁっ♡♡ んっ♡♡ おおおっ♡♡

おごっ♡♡ っ……♡♡ おほおっ♡♡

イグイグイグイグイグイグイグイグっ♡♡

おう♡♡ おっ♡♡ おほおおお♡♡

精子、びゅーびゅー♡♡ びゅーびゅー♡♡ びゅーびゅー♡♡

おほおおおおお♡♡

……はーっ……♡♡ はーっ……♡♡

おっ♡♡ おおっ♡♡ おおお…お尻の中におしっこされてるみたい…

んっ……♡♡ やだ……お尻からあなたの精子が漏れてくる……♡♡

SE:遠くの足音

雫…あっ。

ねえ濡ちゃん、あっちから人来るよ。早く行こ？

ほら、先生も早く。

濡:はーっ…………♡ はーっ…………♡

あっ…………だめ…………♡

足、ガクガクして歩けない……。

ちがっ…………あんたのオチンポで気持ちよくなったんじゃない……！

んっ…………はあっ…………♡ はあっ…………♡

…………何？ 家についたら続きやろうって…………？

む、無理よ…………少し休憩を…………。

あっ…………ううん。分かったわよ。

私たちはあんたのオナホだから。自由にしなさいっ。

雫:ふふっ♡ 濡ちゃん、足にすごい精子垂れてるよ♡

ちゃんと拭かないと恥ずかしいよ♡

ねえ先生、次は私とエッチしてくださいねー？♡

トラック4 四時限目 お家でオマンコ強化訓練♡

SE:ドアが開く音

(雫:前・近い)

(漣:前・近い)

雫:はい、先生♡

「ここが私たちの部屋ですよー♡

漣:意外に綺麗にしてるって？

失礼ね、これくらい普通よ。

雫:先生、女子高生のお部屋に来るのは初めてですよね？

ドキドキします？♡

漣:ほら、さっきの続きするんでしょ？

ねえ、ほら、私のオマンコ使いなさいよ。

……もうこんな……びしょびしょなの……。

……え？ 私じゃなくて雫とするの？

また私はオマンコお預け……？

べ、べつにしたいわけじゃないけど。

オナホ係だからしかたなく奉仕してるだけだし……。

雫:先生、雫にオチンポくれるんですか？♡ 嬉しい♡……♡

はやく、私のオマンコにオチンポください♡……♡

おっ……♡♡ 入って来る♡ 先生のオチンポ雫のオナホマンコに入ってくる…

す……♡♡

さっきもいっぱいしたのにな……♡♡

先生のオチンポ、もうガチガチにボッキしてる♡

おっ♡♡ おっ♡♡ おおっ♡♡ おほおっ♡

はっ♡♡ はあっ♡♡ んっ♡♡ おおおっ♡

おっっ♡♡ ……♡♡ おほおっ♡♡ おう♡♡

おおおお♡♡ おほ♡♡ おほ♡♡

おっほ♡♡ おっっ♡♡ おっ♡♡ おっ♡♡

はあっ♡ あっ♡ あっ♡ おっ♡
おほおっ♡ おっ♡ おっ♡ おああっ♡
あっ♡ おう♡ おほ♡ おほおほ♡

(いっ)まで)

(雫:前・近い)

(滯:左・近い)

滯:はーっ……♡ はーっ……♡

あんた、私のオマンコいつまでお預けするつもり？

もう、我慢できない……私、オマンコがうずいて……♡

オナニーしても、いい……？

んっ……ふうっ……♡ 自分の指……オマンコに入れて……♡

おっ♡ おっ♡ おおっ♡ あっ♡ おっ♡ おほ♡ おほお♡

あんたと雫のエッチ見ながら……こんなの……♡ んっ……♡

おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おほおっ♡ はっ♡ はあっ♡ んっ♡

オマンコ気持ちいいっ♡

おおおっ♡ おぎっ♡♡……♡

おほおっ♡ おう♡ 私、オナホなのにオナニーしちゃってる……♡

あっ♡ おお♡ おほお♡

おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おほおっ♡ はっ♡

はあっ♡ んっ♡ おおおっ♡ おぎっ♡

雫:おっ♡♡ おっ♡♡ おおっ♡♡ おほおっ♡♡

はっ♡ はあっ♡♡ んっ♡♡ おおおっ♡♡

おぎっ♡♡ ……♡♡ おほおっ♡♡ おう♡♡

おほ♡♡ おほお♡♡ おほおっ♡♡

やっぱり先生のおちんちん、ぎもぢいっ……♡

おほおほ♡♡ おほ♡♡ おほっ♡♡

おっほ♡♡ おぎっ♡♡ おっ♡♡ おっ♡♡

はあっ♡♡ あっ♡♡ あっ♡♡ おっ♡♡

おほおっ♡♡ おっ♡♡ おっ♡♡ おああっ♡♡ あっ♡♡

おほっ♡♡ おほおほ♡♡ おっ♡♡

おっ♡♡ ぎもぢいっ♡♡ そっ♡♡ おほおほおほお♡♡

おっ♡おほっ♡おっ♡おっ♡

先生っ♡雫のオマンコ、好きなだけ使ってくださいっ♡
も、もっと激しくしても……♡

おおっ♡♡おっ♡♡すっっ……♡♡おほおお♡

おほ♡おほっ♡おっ♡おっ♡

おっほ♡おっっ♡おっ♡おっ♡はあっ♡

あっ♡あっ♡おっ♡おほおっ♡

おっ♡おっ♡おああっ♡あっ♡おっ♡おっ♡

おほおお♡♡おほ♡おっ♡

雫:はー♡はー♡

あんたのオチンポ……気持ちよそっ……♡

はあっ……♡んっ……♡

あんたのオチンポでぐちゃぐちゃにされるの……考えちゃっ♡

おっ♡おっ♡おっ♡おほおっ♡

はっ♡はあっ♡んっ♡おおおっ♡

おっっ♡♡……♡♡おほおっ♡♡おっ♡

おほ♡おほ♡おっほ♡おおっ♡

何、見てんのよっ……♡

私のオナニー見て、興奮してんの……っ♡

おっ♡おほっ♡

おっほ♡おっっ♡おっ♡おっ♡

はあっ♡あっ♡あっ♡おっ♡おっ♡

おほおっ♡おっ♡おっ♡おああっ♡

あっ♡んっ……♡♡おほおお♡♡

きもちいいっ……♡♡はー♡♡はー♡

おっ♡おっ♡おほおっ♡♡おほおお♡♡

雫:先生♡もっと♡いっぱいいてくださいっ♡

子宮までガンガンついてくださいっ♡

おおおっ♡♡おほおお♡♡おほ♡

おっ♡おっ♡おほおお♡♡おっ♡

そっっ♡だめなとこ当たってる♡♡ぢもぢっ♡♡

おほおお♡♡おほっ♡♡おっ♡♡

おっほ♡♡おっっ♡♡おっ♡♡おっ♡

はあっ♡ あっ♡ あっ♡ んおっ♡ おほおっ♡
おっ♡ おっ♡ おああっ♡ あっ♡

頭おかしくなるっ……♡ おっ♡ おほおほ♡
いぐっ……♡ イッぢやいますッ……♡

おっ♡ んおっ♡ おほおほ♡ おっ♡ おっ♡

いぐっ♡ イグイグッ♡イグイグイグ♡オナホマンコいぎますっ!♡

おおおお♡

先生もっ♡ 一緒にイきましょう♡ おっ♡

い、いくっ♡ イクウウウウウッ♡♡♡

おっ……♡ おほっ……♡ お……♡

ふーっ……♡ ふーっ……♡

また先生のおちんちんでイッぢやいました……♡

頭、まっしろになっちゃう……♡

(いっ)まで)

(雫:前:近い)

(濡:前:近い)

濡:はーっ……♡ はーっ……♡

雫:ばっかりズルい……。

わ、私も……あんたの……あんたのオチンポ、欲しいんだけど……。

……はあっ!?! 土下座してお願いしろって……。

そんなの……くっ……。わかったわよ……土下座すればいいんですよ……

……お願いします。先生のオチンポ、私のオナホマンコにぶち込んでください……

…。

(雫：前・近い)

(濡：前・近い)

雫：はーっ♡ はーっ……♡

先生の精子、オマンコからいっぱい溢れてくる♡

濡：ちょっと、早くしないよ……っ。

は、早く……先生のオチンポくださいっ……！

ほら、ちゃんとお願ひしたでしょ……？

ね、ねえってば……っ！

(いっ)まで)

SD：パチンツと指を鳴らす音(?)

(雫：前・近い)

(濡：前・遠い)

濡：いきなり何？ 指なんか鳴らして……。

は……？ 何やってんのあんた。

なんであんたがウチにいるの……？

し、雫！？

あんた、裸で何やって……。

オマンコから精子が……？

は……？ まさか、この変態と……？

ちよつと、あんた！ 雫に何やってんのよ！

はあっ？ 私もおナニーしてたじゃんって……？

やだ、うそ……何よこれ……きもい！ サイテー！

私たち、催眠アプリで催眠をかけられてたって……？

やだ……信じらんない……！

……絶対に許さない！

雫！ 早く逃げよ？

雫：濡ちゃん……♡

先生のおちんちん、すっごい気持ちいい♡
それに、私たちは先生のオナホ便器だよ？

勝手に逃げたらだめでしょ……？♡

濡：雫……！

ちよつと、あんた！

早く雫の催眠も解きなさいよ！

……え？ 絶頂するたびにあんたのことが好きになる催眠？

な、なに言ってるのよ……やるわけないじゃない！

はあ……？ 条件があるって？

催眠かけたまま一時間過ぐせれば、雫の催眠を解いてくれるの？

……一時間……。

わ、分かったわ。受けて立とうじゃない

ただ、一時間たったら絶対に雫を解放しなさいよ。

一時間後にはあんたのことが好きになってるって？

フンッ、あんたのフニヤチンなんかで私がイクわけないでしょ……！

あんたのことなんて一ミリも好きにならないんだから……

SE:スマホの操作音

濡：……これで催眠にかかったっていうの？

じゃあ、これから一時間ね。

あんたとエッチするなんて最悪だけど……雫のためなら……。

絶頂しなきゃいいだけなんでしょ、楽しよーじゃない

あんたみたいな陰キヤの祖チン相手なんて

(いっ)まで)

(雫：前：近い)

(濡：前：近い)

濡：んっ……んんっ……。

オチンポ、入って来る……おっ……♡

おっ♡ おおっ♡ おっ♡ んっ♡

き、気持ちよくなんかつ……おおおっ♡

おほ♡お♡お♡……♡
おっ……♡おっほ♡おっっ♡
おっ♡おっ♡はあっ♡

雫…ふっふっ♡

雫ちゃん、やっとおちんちん貰えたんだー♡
良かったね、精子いっぱい中だししてもらえるよっ♡

雫…雫っ……目を覚ましてよっ……おっ♡おっ♡

激しっ……♡あっ♡あっ♡おっ♡

おほおっ♡おっ♡おっ♡

やだっ……変な声出ちゃう……♡

おああっ♡あっ♡おほっ♡おほ♡おほおほ♡

おっ♡おっ♡おほおほ♡おほ♡おほ♡おほっ♡

私のオマンコ……なんでこんな感じて……♡

おっ♡おっ♡おおっ♡おほおっ♡

はっ♡はあっ♡んっ♡

おおおっ♡おっっ♡……♡

おおっ♡おほおっ♡おう♡

一時間……イクの我慢しなきゃいけないのに……♡

おん♡おん♡おん♡おっ♡

はあっ♡あっ♡おほ♡

おっ♡おほおっ♡おっ♡おっ♡おああっ♡あっ♡

オナニーしてたせいで……私のオマンコ感じやすくなってるのっ……♡

おっ♡おっ♡おおっ♡おほおっ♡

はっ♡はあっ♡んっ♡

声我慢できなっ……おおおっ♡

おっっ♡おほおおおっ♡……♡

おほおっ♡おう♡おっ♡

おっ♡おほ♡おほ♡おほ♡

雫…雫ちゃんのオマンコ、いっぱい焦らされてトロトロになってたんだろなあ♡

雫…おっ♡おっ♡おっ♡おほおっ♡はっ♡はあっ♡

おおおっ♡♡おっっ♡……♡おほおっ♡♡おう♡

あっ♡ だめええ♡ 止めてっ♡ オチンポ止めてっ…………♡
このままだと、やば…っ

おっほ♡ おぐっ♡ おっ♡ おっ♡
はあっ♡ おっ♡ おほおっ♡

おっ♡ おっ♡ おあぁっ♡ あっ♡ ギもぢっ…………♡
嫌で嫌でたまらないのに…っ

あっ♡ あっ♡ おっ♡ おほおっ♡
おっ♡ おっ♡ おあぁっ♡

だめええっ♡ いぎっ♡ イキそっ…………♡
おほっ♡ おっ♡

おっ…………♡ おっ…………♡
ふーっ♡ ふーっ…………♡

な、何よ…………ピストン遅くしちゃって。
ふんっ…………フニヤチンのくせに余裕いってんだあ。

…………っ…………おおおっ♡♡♡ いきなりっ激しっ♡
おっ♡ おっ♡ おおおお♡

おっ♡ おっ♡ おおっ♡
おほおっ♡ はっ♡ おおおっ♡

だ、だめっ…………♡ 我慢しなきゃなのに…………！
おっほ♡ おぐっ♡ おっ♡ おっ♡ はあっ♡ おっ♡

あっ♡ おっ♡ おほおっ♡ おっ♡ おっ♡ おあぁっ♡
イッ♡ いっぢやう♡ おほおお♡ だめなのにいい♡

おっ♡ おっ♡ おほおお♡
いぐっ♡ いぐいぐいぐっ いぐっ…………♡ イぐウウウウッ♡♡♡
うっ…………♡ んっ…………♡

はーっ…………♡ はーっ…………♡ 目の前がチカチカする…っ
は、はは…………何よ？

絶頂したけど、まだあんたのこと大っ嫌いなんだけど？
その催眠アプリ、インチキなんじゃないの？

ふーっ…………♡ ふーっ…………♡
雫、絶対助けてあげるからね…………！

雫…がんばれー雫ちゃん

あーあ。いいなあ、先生にいっぱいオマンコしてもらえて…………♡
ねえ先生、次は私ですからね…………？

濡：雫……くっ……。

でも、この調子なら大丈夫ね。

さつきイッたのは油断しただけ……。

それに、一回イッただけで何の変化もないもん。

一時間だけ、あんたとのエッチさえ我慢できれば問題ない……。

ぶぶっ♡ そんなにオチンポギンギンにたたせちゃって♡

本気出したって、あんたのフニヤチンで私のこと落とそうなんて無理よ。

……きやつ。何？ さっそく続きやろっつての？

や、やってみなさいよ……。

……おっ♡♡んっ……♡♡おほっ♡♡おっ♡♡んんっ……♡♡

おっほ♡♡おごっ♡♡おっ♡♡おっ♡♡はあっ♡♡あっ♡♡

くっ……♡♡あっ♡♡おっ♡♡おほおっ♡♡おっ♡♡おっ♡♡

おああっ♡♡あっ♡♡どうして……さっきより……感じて……♡♡

おっ♡♡おっ♡♡おっ♡♡おほおっ♡♡

はっ♡♡はあっ♡♡んっ♡♡

か、感じてなんか……おほおっ♡♡おごっ♡♡……♡♡

おほおっ♡♡おう♡♡おほっ♡♡おほっ♡♡おほおお♡♡

ちがっ♡♡これは、気持ちいいんじゃないっつ……♡♡

おほおおっ♡♡おほ♡♡おほっ♡♡おっ♡♡んっ……♡♡

おっほ♡♡おごっ♡♡おっ♡♡おっ♡♡

はあっ♡♡おっ♡♡おっ♡♡

おっ♡♡おほおっ♡♡おっ♡♡おっ♡♡おああっ♡♡あっ……♡♡

そごっ……♡♡そいだめっ♡♡おほおおおお♡♡♡♡♡♡

だめなとこ当たってる♡♡おほおおおお♡♡♡♡♡♡

いやあっ♡♡おおおっ♡♡おほ♡♡おほおおおお♡♡♡♡♡♡

んっ……♡♡んっ……♡♡んんっ♡♡おっ♡♡おっ♡♡おほおおおお♡♡

雫：先生ー♡

先生の立派なおちんちんで、濡ちゃん喜んでますよ♡

濡：ちがう……♡♡喜んでないっ……♡♡

雫：……♡♡目を覚ましてえ……おっ♡♡おっ♡♡

おっほ♡♡おごっ♡♡おっ♡♡おっ♡♡はあっ♡♡あっ♡♡

んっ……♡♡あっ♡♡おっ♡♡おほおっ♡♡おっ♡♡おっ♡♡

おあぁっ♡ あっ♡ も、だめ……♡
頭おかしくなるっ……♡ おっ♡ おっ♡
おちんちん、子宮まで届いてるの……♡
だめええ♡ おっ♡ おっ♡ おおっ♡
おほおっ♡ はっ♡ はぁっ♡
んっ……♡ おおおっ♡ おおっ♡
っ……♡ おほおっ♡ おおおっ♡

に、二回目はないわよ………！

もうイクわけないでしょ………あんたのフニヤチンで………っ。

んっ……♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おほおっ♡

おっほ♡ おごっ♡ おっ♡

おっ♡ はぁっ♡ あっ………♡

ぁっ♡ おっ♡ おほおっ♡

おっ♡ おっ♡ おあぁっ♡

おっほ♡ おごっ♡ おっ♡

おっ♡ はぁっ♡ おほおっ♡

おっ♡ おっ♡ んおおっ♡

ぁっ♡ おっ♡ お♡ おっ♡ おっ♡

イ、イキそう………っ。

ちよっと、やだ………っ！

中だししたら赤ちゃんできちゃう！

おおっ♡ おっほ♡ おごっ♡

おっ♡ おっ♡ はぁっ♡ やめっ………♡

ぁっ♡ ぁっ♡ おっ♡ おほおっ♡

おっ♡ おっ♡ おあぁっ♡

激しいのだめっ………♡ いぐっ♡ 私もイッちゃうっ♡

おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おほおっ♡

はっ♡ はぁっ♡ んっ………♡

おおおっ♡ おごっ♡ ……♡

おほお♡ おほおおお♡ おっ♡

おおおっ♡ またイッちゃうっ………♡ 耐えなぎや…耐え…

無理っこんなきもちいいのっ耐えられないっ♡

いぐっ………♡ いぐっ♡ おほ♡ おほおお♡

いぐっ♡ いぐっ♡ イクウウウウウッ♡♡♡

ふーっ………♡ ふーっ♡ っっっ………♡

最悪：生で中出しされて絶頂するなんて：っ

こ：こんな激しくされたら誰でもイクわよ……。

でも安心して、2回イったけどまだあんたの事大っ嫌いだから

ちよっそんな、おっ♡イッたばつかなのに連続でなんて

おっ♡おっ♡ダメ：今敏感になってるから

すぐ：イっちやうっ♡んふーっ♡ふーっ♡こんなにすぐ

イカされるなんて：っ

これ以上イかされたら本当に：いつの事

好きになっちゃう、耐えなきゃ…

おっ♡おほっ♡やだオチンポとめてっ♡もう無理っ♡

私のオマンコ耐えられないのっ♡

ああ♡やべ♡イグイグイグッ

まだイグっ♡

おっ♡認めますっ♡私のオマンコは敏感弱々クソ雑魚オマンコですから、もうおちんちん突かないでくださいっ♡

おっ♡そんなっ♡イってるのに連続なんてっ♡

やべっ♡イグっ♡イグっ♡またいつてるっ♡もういぎたくないのにいつ♡

、おっ♡またいつてる♡いつでます！♡

イグっ♡あっやべっ♡連続いつてるっ♡んおっ♡

オチンポひと突きされることにいっっちゃでるっ♡

私のオマンコ、イキっぱなしにさせられてるうっ♡

ヤベッ♡イグっイグっイグっ♡

ああオマンコ、イクの止められにやいつ♡

あっ好き♡好きですっ♡先生の逞しいオチンポ好き♡

すぎっすぎっすぎっすぎっ♡

オチンポで子宮のつかれるのすぎっ♡

ああやべっ♡まだイグイグっイグイグっ♡

私のオマンコにびゅーびゅー中出ししてくださいっ♡

ふーっ……♡♡ふーっ……♡♡

……え？もうやめちゃうの？

ちよっと待つてよ、まだあんたイッてないでしょ？

違うわよ……別に私がしてほしいわけじゃ……。

……ま、まって！

やめないで……ください……。

ど、土下座？ う…分かった……わよ。

私九条濤のオマンコは…先生のオチンポに敗北しました…

なので今日から私は普通の女子高生を辞めて

先生の専属オナホになることを誓います……♡

だから……私のこと、孕ませてくださいっ……！♡

雫…ふっ、やっと濤ちゃんも素直になったね♡

これで私たち、正式な先生の専属オナホ嫁になりました♡

オナホマンコに好きなだけびゅーびゅーしてくださいね♡

濤…ご主人様あ……早く私のオマンコに精子くださいっ……♡

え？これ以上イッたらもう後戻りできなくなるって？

いいんです…今日からはご主人様専用のオナホになるんですから

このオナホを絶頂させまくって私を快楽の底に落としてくださいっ♡

先生キスしてください…♡

ん…ちゅ…ちゅる…ちゅじゅるるる、ふはあ♡

好きです先生い♡

あっ……♡ 先生のオチンポ♡ くるっ……♡ おっ♡

おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おほおっ♡ はっ♡ はあっ♡

おおおっ♡ 先生のオチンポ、すごっ♡ ……♡

おほおっ♡ おう♡ おっ♡ おっ♡ おほおほ♡

おっほ♡ おごっ♡ おっ♡ おっ♡ はあっ♡ おっ♡

あっ♡ あっ♡ おっ♡ おほおっ♡ おっ♡ おああっ♡

オチンポぎもちいいっ♡ 好き先生のオチンポ、好きっ♡

おっほ♡ おっ♡ おっ♡ はあっ♡

あっ♡ おほおっ♡ おっ♡

おっ♡ おああっ♡ あっ♡

好き好き好き大好きです先生っ♡ 一杯キスしてください♡

じゅるちゅるじゅるるるじゅるじゅる♡

おほおほ♡ おっ♡ おほおっ♡

も、もっと激しくしてっ♡

濡のオマンコ、奥までいっぱい突いてください♡

おっほ♡ おっほ♡♡ おっ♡ おっ♡

はあっ♡ おっ♡ おほおっ♡

おっ♡ おっ♡ んおおっ♡

あっ♡ おおおっ♡

やべっ♡ ギミぢぢっ♡ ぢぢぢぢっ♡

おっ♡ おっ♡ おほおお♡

おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おほおっ♡

はっ♡ はあっ♡ おおおっ♡

おっ♡♡ ……♡ おほおっ♡

おう♡ おっ♡ おっ♡

先生も、イキそう……ですか……？♡

おっ♡ おおっ♡

私のオナホマンコに、精子びゅーびゅーしてください♡

おっ♡ おっ♡ おおっ♡

おほおっ♡ おおおっ♡ おっ♡

くるっ……♡ おほおっ♡

おう♡ おっ♡ おっ♡ おおお♡

先生♡ 私と一緒にイキそうっ……♡

今イカされたら堕ちちゃうっ♡

心も身体も先生のものにされちゃうっ♡

堕としてっ♡ 先生のおチンポで濡の生意気マンコぶちやぶちやに堕としてください♡

ああいぐいぐいぐいぐいぐいぐいぐいぐい……♡ いぎますっ♡

私のこと、ちゃんと孕ませてくださいねっ♡

おっ♡ おっ♡ おおお♡

おほおお♡♡ いぐっ♡ いぐうっ♡

イツ……♡ イクウウウウウッ♡♡

うううっ♡ はーっ♡ はーっ♡

先生の精子、私のオマンコにびゅーびゅーしてる♡

ふふ、私のオマンコ先生の精子で満たされてる……♡

赤ちゃん、できちゃう……♡

大好きです…先生ちゅっ♡

雫：すごい……♡

雫ちゃんのオマンコから、精子どろどろ垂れちゃってる♡

濡：ねえ先生……あのき……。

ふふ…大好き……

これからもずっと、私のオナホマンコ使ってくださいますか？♡

トラック6 六時限目 メスガキ^①花嫁オナホ ハーレム

SE:ドアが開く音

(雫:前・遠い)

(滯:前・遠い)

雫:あ、先生来た〜♡

滯:いらっしやい。お仕事お疲れ様。

(……まで)

(雫:前・近い)

(滯:前・近い)

雫:先生、今日も学校でたーくさんエッチしたね……♡

気持ちよかった?♡

……ふふっ♡ なら良かったあ♡

滯:先生、早く私のオナホマンコ使ってよ。

今は、お腹に子供がいるから

生ハメし放題なんだから♡

ふふ大丈夫

うちの親、二人とも出張行ってるの。

だから、明日からの連休も三人でゆっくり過ごせるよ……?♡

雫:先生♡ まずは雫からですよね?♡

だって、さっき学校で約束したじゃないですかあ♡

はいっ……私のオナホマンコ♡

もうすっかりトロトロになってます……♡

はいっ……♡ おちんちん、入れてください……♡

あっ……♡ おっ♡ おっ♡ おおっ♡ すごいっ♡

やっぱり先生のおちんちん、気持ちいい……♡

おっ♡ おっ♡ おっほ♡ おごっ♡

おっ♡ おっ♡ はあっ♡

あっ♡ あっ♡ おっ♡ おほおっ♡
おっ♡ おっ♡ おああっ♡
おおおっ♡ おっ♡ おっ♡
おほおお♡ おっほ♡ おほお♡
おっほ♡ おっっ♡ おっ♡
おっ♡ はあっ♡ あっ♡
あっ♡ おっ♡ おほおっ♡
おっ♡ おっ♡ おああっ♡

澤.:先生、次は私の番だからね……♡

ほら、雫とヤッてる間は私がアナル舐めてあげるよ♡
……最初に会ったとき、いっぱい舐めてあげたでしょ？
先生が好きなこと、全部分かってるのよ……♡
ほら、お尻の穴広げて……♡
えあーん……じゅるじゅる♡
じゅるりじゅるるる♡ ずっ♡ じゅるるるる♡
じゅる♡ じゅるる♡ じゅるる♡
じゅるる♡ んっ、じゅるるるる♡
えあーん♡ じゅるるっ♡ はあっ♡
くっさい尻穴……興奮しちゃうなあ……♡
じゅるる♡ んっ、じゅるるるる♡
えあーん♡ じゅるるっ♡
じゅるじゅるる♡ じゅるりじゅるるる♡

雫.:おっほ♡ おっっ♡ おっ♡

おっ♡ はあっ♡ あっ♡ あっ♡
先生♡ 中にいっぱい出して♡
精子、ください♡
おっ♡ おほおっ♡ おっ♡
おっ♡ おああっ♡ あっ♡
おっほ♡ おっっ♡ おっ♡
おっ♡ はあっ♡ あっ♡ あっ♡
おっ♡ おほおっ♡ おっ♡ おっ♡
おああっ♡ あっ♡

アナル、気持ちいい？♡

じゅるる♡ んっ、じゅるるる♡

えあーん♡
じゅるる♡

えあーん……じゅるじゅる♡

じゅるりじゅるる♡
じゅるる♡

んっ、じゅるるる♡
じゅるるる♡
じゅぶるる♡

じゅ♡
じゅ♡
じゅるるる♡
じゅぷりゅる♡

雪..
おおっ♡
イキそっ..
♡

おっ♡
おっ♡
おほおっ♡

おちんちん気持ちよくて、すぐイッちゃ……♡

おっほ♡
おぐっ♡
おっ♡

おっ♡
おほおっ♡
おっ♡
おっ♡

おああ♡
あ♡
いく♡
いっ……♡
おお♡

[illegible]

おっ……♡
おっ……♡
おっ……♡

はーっ……♡
はーっ……♡

先生の精子、溢れちゃう……♡

はーっ♡
はーっ♡

霽あーあ♡
雪ったら、でれでれしちゃって……♡

先生♡
次は私でしょ？
ね？

んっ
……
♡

騎乗位で、いっぱい気持ちよくしてあげるからさ……♡

ほら……オチンポ、すぐ入っちゃうよ?♡

あっ……♡
はあっ……♡
おおっ♡

おっ……おほ♡
おづっ♡
おっ♡
おっ♡

はあ♡♡♡

おっ♡
おほおっ♡
おっ♡

おっ♡
おああっ♡
おっ……♡

先生のオチンポ、ほんと好き……♡

大好き……♡

おっ♡
おっ♡
おっ♡
おほおっ♡

はっ♡
はあっ♡
んっ♡

おおおっ♡
おづっ♡
っ……♡

おほおおお♡ おっ♡

いぐっ♡ りぐぐうっ♡ りぢぢやう♡

こんな早くイッちゃうの……♡

おっ♡ おおおお♡

いぐっ♡ りぐぐうっ♡ イクウウウウウ♡♡♡

おほおおおっ♡ おっ……♡ おっ……♡

はーっ……♡ はーっ……♡

気持ち……よかった……♡

せ、先生……っ♡

私のこと、ぎゅってしてくれませんか……。

ち、違っ……から……

別に、先生に甘えたいからとかじゃなくて……その……。

……ぎゅーっ……♡ んっ……♡

先生のこと、だいすき……です♡

雫：濡ちゃんばかりズルいよぉ♡

雫も、ぎゅーっとしてください……♡

ぎゅっ♡ ふふっ……♡

ふふっ♡ ねえ、先生、ちゅーしてっ♡

んっ……♡ ちゅ……♡ んっ……♡ ちゅ♡ ちゅ♡

んっ♡ はぁっ……ちゅ♡ はむっ♡ んっ♡ ちゅ……♡

先生、雫も先生のこと大好き♡

濡：ねえ、先生♡

私たちのこと、花嫁オナホにしてくれますか？♡

……本当に？ 嬉しい……♡

ふふっ、これからもずっと一緒ですからね♡

雫：夜はまだこれからですよ……♡

もう一回、シマしようか……♡

濡：私たちは、先生の専属オナホですから♡

(おわり)